

2023年5月25日

北海道旭川聾学校寄宿舎 発行



巻頭言

「遠出をして思うこと」

校長 菅野 弘尊

令和5年度が、全校幼児児童生徒18名、寄宿舎生6名でスタートしました。職員は寄宿舎でも学校でも入れ替わりが多くありましたが、今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

今年のゴールデンウィークは、参観日の後8連休となりました。そのちょうど子どもたちがいなかった期間、北星中学校と向陵小学校から続く寄宿舎の前の通りは桜が満開で見事な美しさを見せてくれていました。「もったいない。子どもたちにも見せてあげたかった。」と思っていましたが、ふと「子どもたちはいろいろな地域から来ている。それぞれ、家の近くの桜がどうだったか話題にできるのはいいな。」と考え直しました。帰省している間に徐々に満開になった地域もあれば、まだ蕾のままだったという地域もあったでしょう。この時期、春の訪れを感じるのにも地域による違いがあることを、家族や寄宿舎の友達と実感をもって話し気付くことができることは、日本最北そして最大の広さの校区をもつ聾学校である本校の良さだと思います。

私は機会があって連休中、道東に足をのばしました。車で5時間程の所まで行きましたが、遠出して長時間運転する際にはいつも思い浮かべていることがあります。それは「寄宿舎の子どもたちと保護者の方」のことです。帰省・帰舎では長い時間をかけて学校と家を行き来していること、送迎して下さる保護者の方は往復で毎回その倍の時間を使うこと、雪道や風雨の

中でも学びのために通っていただいていること、などです。本当に大変な思いをしながらも、子どもたちにとって必要な聾学校の指導・寄宿舎での生活をとおして身に付けられる力について、御理解と御協力をいただいていることへの責任とやりがいを感じ、気持ちを引き締めています。新たに赴任した職員にも、その期待に応えられる学校・寄宿舎でいましょうと必ず話すようにしています。引き続き保護者の皆様と話し合いながら、健やかに子どもたちを育て新たな学校作りを目指していきたいと思えます。

余談ですが、道東土産にはせっかく遠方に来たのだからその土地ならではのものを選びたいと思い、「知床〇〇」というお菓子を買いました。ところが先日、それが旭川駅で普通に売られているのを見かけ、何事もリサーチが大事だと実感しました。遠出をするときには、みなさんにも気を付けていただきたいと思います。(※そのお菓子自体はおいしくてよかった、と付け加えさせていただきます。)

【進級を祝う会】

4月12日（水）寄宿舎で進級を祝う会を行いました。

この日の行事担当は、中学生のFさんとEさん。入学式から2日後なので準備期間が少なかったですが、司会原稿を見るなり2人とも「大丈夫！」と心強い言葉で司会を引き受けてくれました。いざ会が始まると、さすがは中学生！大勢の人の前でも物怖じせず、とてもスムーズに司会進行をしてくれました。

夕食は、からあげやデザートなどみんなが好きな物ばかり。おかわりをしておなかいっぱい食べた後は、各舎室からの自己紹介を行いました。それぞれ自分の好きなことや、今年度の目標など思い思いに発表していました。みんな立派に発表することができ、学年が上がって成長したことを感じられました。他にも職員の見聞ではユーモアある発表に、とても和やかな雰囲気の中、会が進行していました。

発表を終えるとみんなで記念撮影！新年度初の行事にどこかしら表情もワクワクしているように感じられました。会の終了後は会場の後片付けがありました。それぞれの持ち場をテキパキとこなすことができました。

今年度は、寄宿舎生6名指導員8名でのスタートとなりますが、みんなで楽しく元気に寄宿舎生活を送っていきたいと思います。



【4月誕生会】

4月26日（水）、Fさんの誕生会を行いました。

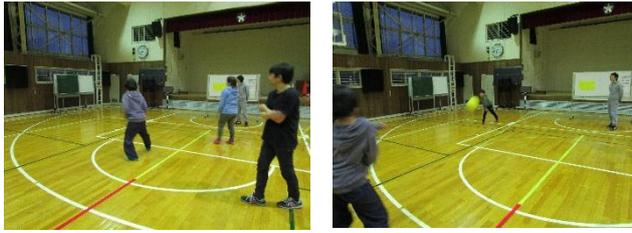
担当は、DさんとAさんでした。2人のスムーズな話し合いですぐに役割分担が決まり、司会はAさん、Fさんの入場の誘導などはDさんが担当しました。

Fさんの挨拶では、仲良し発表会でも発表した、家でお世話しているアイガモに触れ、「アイガモといえる時間が楽しいです。う〇このお世話を頑張ります！」と抱負を語ると、仲良し発表会同様笑いが起きていました（笑）

夕食はFさんのリクエスト通り、みそラーメン、ガーリックライス、ギョウザ、枝豆の中華サラダで、なかなかのボリュームでした。ギブアップの指導員もいる中、子どもたちは喜んで食べていて、Fさんはあっという間にペロッと食べ、満足そうでした。

ゲームは、体育館でドッジボールをしました。中学生はハンデとしてボールを下から投げることにしていたのですが、ボールが速い！！さすがですね。小学生も負けじと頑張って全身を使って相手の体を目撃します。Fさんは狙われても逃げまくる！！避け方が上手で最後まで1人頑張った内野に残っていました。終わった後は、「楽しかった。」との感想を寄せてくれました。





・舎室紹介・

「出来ることは1人で

出来ないことは2人で」

今年度の1室も、寄宿舍の元気印、AさんとBさんの2人部屋です。

互いに小学部3年に進級して、心も体もさらに大きく、そして逞しいものになってきています。今年度は自分たちが主体的になって取り組む活動が盛りだくさん。Aさんは「掲示係」に、Bさんは「お風呂掃除係」の担当になりました。さっそく係活動も始動して、「みんなが気持ち良く入浴できるようにきれいにお掃除頑張らないと!」、「どんな掲示物貼ろうかな?みんなが喜び掲示物って何だろう?」と自分なりに考えるなど、意欲も垣間見えています。頑張るときにはとことん頑張る、遊ぶときにはとことん遊ぶといった、メリハリのある寄宿舍生活を自分なりに見いだして過ごしてほしいなと思います。

原稿のタイトルは、現在放映されているドラマの一場面から引用した台詞です。これまで取り組んでいなかった日課や活動についても挑戦する姿勢で、自立した生活に向けて出来ることをどんどん増やしてほしいと願っています。また2人は幼稚部時代からの長い付き合いもあるので、困ったときには手を差し伸べられる、そんな絆を大切に過ごしてほしいと思います。

今年度の終わりには、「同じ舎室で良かったよ、ありがとう」と互いに伝え合えたら良いですね。

室担としても、2人が安心して「ただいま」

と帰ってこられる環境づくりに努めていきたいと思っています。



「みんなのプリンセス」

今年度も2室はプリンセスCさんのお部屋です。一人のお部屋は少し寂しいですが、いつもお兄さんたちが気に掛けて、話し掛けたり、遊んだりしてくれるので楽しい時間を過ごしています。

らいおんぐみに進級したCさんは、手話も指文字もひらがなもたくさん覚え、お話ししてくれています。お友達とたくさんお話しして、いろいろな言葉を覚えてほしいと思います。

また、今年度は係活動が始まりました。Cさんは「だれもいないところの電気を消す係」になりました。今までは食堂の配膳当番の表を見て、「私の名前がない…」と早く当番活動がしたい様子のCさん。係活動に意欲的に取り組んでもらえることと頼もしく思います。

1年間、よろしくお願いします。



「今年も元気に！3室です」

3室のメンバーは昨年度同様のメンバーで、中学生1名と小学生1名の2人部屋です。元気に楽しく生活する3室の紹介をします。

Dさんは、小学4年生になり寄宿舎生活にもすっかり慣れてきており、日課の流れに合わせた行動ができるようになってきています。宿題では、分からないところを辞典で調べようしたり、日記では今日の出来事を指導員に説明しながら書くことが多くなったりするなど成長を感じます。係活動では、お風呂の掃除係を提案しており係が決まった直後に「今日、お風呂の掃除をします」とやる気満々です。

Eさんは、中学3年生に上がり今年度で最後の年になりましたが本人より「最後の年なので楽しみます」と抱負を語っていました。最高学年になり学習や部活動などで忙しい中、行事や余暇活動などの場面では上級生らしい振る舞いで年下の舎生の牽引役になってくれています。受験生になり、学習時間と余暇時間を上手く切り替えながら寄宿舎生活を過ごしています。応援しています！

今年度も、指導員2名で元気に舎室を盛り上げていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



クに花が咲くのです。

また、中学部になって2週間後には部活が始まり、文化部と卓球部の掛け持ちとなりました。小学部時代からバージョンアップして、勉強に部活にと大忙しの毎日です。学校での出来事やお家で育てているかわいいヒナ鴨の話などは、もう一人の舎室担当にも笑顔で教えてくれますが、照れ屋で人見知りの一面もあります。

でも、本心からの「女の子の転校生が来ないかな…?」、「同年代の同性のお友達が欲しいなあ!」とのつぶやきが聞こえてきます。今後は、以前のようにお隣の中学校とも交流が再開して、楽しい女子トークが出来るお友達が出る可能性もあります。その時のために、コミュニケーションのスキルに磨きをかけてほしいと舎室担当二人は願っています。

まずは、本人が希望した「全舎あそび」系の計画立案と実施の大役をやりきることから。寄宿舎のみんなをまとめるコミュニケーション能力とリーダーシップが試されます。

さあ、この1年間でどのように成長するのでしょうか。楽しみです。



「 紅一点 7室 」

4月から中学部に進級したFさん。中学部には他に女子がないので、紅一点になってしまいました。寄宿舎でも2室に幼稚部の女の子が1人だけ…。

昨年まで中学部の先輩が同室に居たのですが、卒業してしまったため寂しいことに2階には女子が1人だけです。頼みの綱は先輩であり舎室担当であるJ先生で、アニメや映画、ゲームといった共通の話題があり、いつも女子ト

